

平成19年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況		事業を進める社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
							総事業費	進捗率					
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
下水道事業	9	中勢沿岸流域下水道(雲出川左岸処理区)	津市		(概要) 計画区域面積 3,888ha 計画処理人口 130,370人 流域幹線延長 12.7km 中継ポンプ場 1箇所 (5.49m <sup>3</sup> /分) 終末処理場 1箇所(95.4千m <sup>3</sup> /日最大)	S56	49,000	67.3%	(残事業) 終末処理場 1箇所 (62.6千m <sup>3</sup> /日最大)	(社会的変化) 関連市の将来行政人口の伸びが鈍化傾向にある。 生活汚水量(原単位)の伸びが鈍化傾向にある。 工場の水利用状況の変化等により工場排水量(原単位)が減少傾向にある。  (経済的変化) 近年の厳しい財政状況から、建設費及び維持管理費のさらなるコスト縮減を進めつつ、下水道の役割・効果を訴え、安定した財源確保に努めている	(費用対効果分析) B / C = 1.79  (コスト縮減) 再生材の活用、省エネルギー化の促進、維持管理費の低減、CO <sub>2</sub> の排出負荷低減、環境負荷の低減、工事情報の電子化  (代替案) 現実的側面から該当なし	関連市の下水道整備の進捗に伴い増加する処理場への流入水量にあわせて段階的に処理施設の増設を行う。平成40年度の完成を見込んでいる	計画処理人口の算定根拠及びこれに基づく下水道施設の処理能力について、妥当性が判断できる説明が不足していた。従って、これらを説明できる資料の提出をまって再審議とする。
							44,600	64.1%					
						H40	4,400	100.0%					
					(目的) 中勢沿岸流域(雲出川左岸処理区)の水質保全と生活環境の改善								

平成19年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
下水道事業	10	宮川流域下水道(宮川処理区)	伊勢市、玉城町、明和町		(概要) 計画区域面積 5,080.1ha 計画処理人口 167,720人 流域幹線整備 48.2km 処理場整備 1箇所(102千m <sup>3</sup> /日最大)	H10	100,000	34.4%	(残事業) 流域幹線整備38.4km 処理場整備 1箇所(95千m <sup>3</sup> /日最大)	(社会的変化) 関連市町の人口の伸びが鈍化傾向、汚水量(原単位)、工場排水量(原単位)が減少、全体計画の見直し、処理場で希少生物が生息  (経済的変化) 近年の厳しい財政状況から、建設費及び維持管理費のさらなるコスト縮減を進めつつ、下水道の役割・効果を訴え、安定した財源確保に努めている	(費用対効果分析) B / C = 1.27  (コスト縮減) 長距離推進工法による立抗の削減、再生材の利用、リサイクル・省エネルギー化の促進、維持管理費の低減、環境負荷の低減、工事情報の電子化  (代替案) 現実的側面から該当なし	関連市町の下水道整備の進捗にあわせて幹線管渠の整備を行い、処理場への流入水量の増加にあわせて段階的に処理施設の増設を行う。H68年度の完成を見込んでいる	計画処理人口の算定根拠及びこれに基づく下水道施設の処理能力について、妥当性が判断できる説明が不足していた。従って、これらを説明できる資料の提出をまって再審議とする。
							95,700	31.4%					
						H68	4,300	99.7%					
					(目的) 宮川流域(宮川処理区)の水質保全と生活環境の改善								

平成19年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町等事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率	事業進捗内容				
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
広域漁港整備事業	101	菅島	鳥羽市		【全体事業概要】 外郭施設 沖防波堤 L=48m、205m 防波堤 L=50m、155m 護岸 L=35m、38m、160m、50m 突堤 L=100m、85m、40m 係留施設 - 3m岸壁 L=150m - 4m岸壁 L=20m 浮桟橋 2基 輸送施設 道路 L=240m 橋梁 1式 漁港施設用地 A=18,900㎡ 漁場施設 魚礁 1式  【事業目的】 漁業作業の為に用地を確保します。 漁船が安全に陸揚、準備、休憩できる岸壁を確保します。 荒天時でも漁船が安全に係留できるよう港内の静穏度を高めます。 高齢者・女性従事者における陸揚作業の安全を確保します。	H6	4,077	90.8%	外郭施設 沖防波堤 L=48m、174m 防波堤 L=50m、155m 護岸 L=35m、38m、160m、50m 突堤 L=100m、85m、40m 係留施設 - 3m岸壁 L=150m - 4m岸壁 L=20m 浮桟橋 1基 輸送施設 橋梁(下部工) 1式 漁港施設用地 A=18,900㎡	【全体計画の変更】 施設内容としては変更はないが、総事業費は4,111百万円から4,077百万円に全体計画を変更。	費用便益費 B/C = 2.26  コスト縮減 用地埋立てに、床掘と他事業で発生した残土を流用しました。 基礎材として再生砕石を使用しました。  代替案 港内の静穏を高めるための沖防波堤及び整備済用地の活用を図るための道路ならびに潮位差を解消するための浮桟橋であることから現計画が妥当であると考えています。	平成6年度に事業着手し、現時点での進捗率は90.8%となっています。 H23年度には全体計画を完了する見込みです。	事業が相当程度進捗し事業効果の発現を促す必要があることから事業継続を了承する。ただし、事業効果の発現のため、漁業及び観光振興に資する施策の確実な実施を求めるものである。
							4,077	90.8%					
						H23	-	-					

平成19年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町等事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況		事業を進める社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率				
							うち工事費	進捗率				
							うち用地費	進捗率				
下水道事業	102	中勢沿岸流域下水道(雲出川左岸処理区) 関連 津市公共下水道	津市		(概要) 計画区域面積 3,888ha 計画処理人口 130,370人 管渠延長(幹線+枝線) 876千m	S56			(社会的変化) 少子化等の影響を受け人口の伸びが鈍化傾向にある。節水型等の普及により生活污水量(原単位)の伸びが鈍化傾向にある。工場排水量(原単位)が減少傾向にある。市町村合併  (経済的変化) 厳しい財政状況であることから、建設費、維持管理費のさらなるコスト縮減、効率的な事業を進めることが求められる	(費用対効果分析) B / C = 1.79  (コスト縮減) 管渠の小口径化, マンホール間隔距離の見直し, 管渠埋設深の見直し, 再生材の活用  (代替案) 現実的側面から該当なし	社会経済情勢の動向や市民のニーズ、財政面を考慮し、人口密集地など整備効果の高い地域から順次整備を進め、平成40年度の完成を目指している	計画処理人口の算定根拠及びこれに基づく下水道施設の処理能力について、妥当性が判断できる説明が不足していた。従って、これらを説明できる資料の提出をまって再審議とする。
							152,735	38.7%				
							152,735	38.7%				
					(目的) 中勢沿岸流域(雲出川左岸処理区)津市内の水質保全と生活環境の改善	H40	-	-				

平成19年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町等事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況		事業を進める社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率				
							うち工事費	進捗率				
							うち用地費	進捗率				
下水道事業	105	桑名市公共下水道事業(北勢沿岸流域下水道(北部処理区)関連)	桑名市		(概要) ・排水区域面積 111.13ha ・確率年 8年 ・ポンプ場整備 1箇所(4台10.335m <sup>3</sup> /s) ・雨水幹線整備 L=2,140m	H9	5,893	39.7%	(社会的変化) 平成12年降雨、平成16年降雨など、近年でも浸水被害を経験しており、地元からは雨水施設の早期改修が強く要望されているなど、事業の促進に支障となるような、大きな変化はない  (経済的変化) 厳しい財政状況	(費用対効果分析) B / C = 1.38  (コスト縮減) ポンプ場の経済的で円滑な排水運転、幹線水路整備の進捗に合わせた段階的整備、ポンプ場の集中管理および外部委託化の実施、より経済的で早期に効果の発現が可能な幹線ルートを選定  (代替案) 現実的側面から該当なし	平成19年度未までに全体計画の半分(約5m <sup>3</sup> /s)を有するポンプ施設を完成し、平成20年度から幹線管渠の整備を順次進め、平成27年度の完成を見込んでいる	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。
							5,419	34.4%				
						H27	474	100.0%				
					(目的) 宅地化の進展に伴う桑名市街地の浸水防除を図るため、老朽化の進んだ基内ポンプ場の改築および雨水幹線の整備を行う							

平成19年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町等事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況		事業を進捗内容	事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率					
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
下水道事業	109	宮川流域下水道(宮川処理区)関連伊勢市公共下水道事業	伊勢市		(概要) 計画区域面積 3,608.5ha 計画処理人口 117,590人 管渠延長(幹線+枝線) 689Km  (全体計画概要) 計画区域面積 4,039.1ha 計画処理人口 134,820人	H11	117,983	14.8%	(残事業) 計画区域面積 3,143.8ha 管渠延長(幹線+枝線) 569Km  (社会的変化) 本市の人口は減少傾向 汚水量(原単位)、工場排水量(原単位)が減少 全体計画諸元の見直しを行った  (経済的変化) 厳しい財政状況であることから、建設費、維持管理費のさらなるコスト縮減、効率的な事業を進めることが求められる	(費用対効果分析) B / C = 1.27  (コスト縮減) 管渠の小口径化 マンホール間距離の見直し 再生材の活用 発注規模の見直し  (代替案) 現実的側面から該当なし	順調に管渠の整備を行っており、今後も中心市街地など整備効果がより高い地域を選定し、重点的に整備を進めていく	計画処理人口の算定根拠及びこれに基づく下水道施設の処理能力について、妥当性が判断できる説明が不足していた。従って、これらを説明できる資料の提出をまって再審議とする。	
							117,983	14.8%					
						H78	-	-					

平成19年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町等事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況		事業を進める社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率				
							うち工事費	進捗率				
							うち用地費	進捗率				
下水道事業	110	宮川流域下水道(宮川処理区)玉城町公共下水道事業	玉城町		(概要) 計画処理面積 284ha 計画処理人口 8,990人 管渠延長(幹線+枝線) 94.8km  (全体計画概要) 計画処理面積 462ha 計画処理人口 14,300人	H17	10,840	10.7%	(残事業) 計画処理面積 269ha 計画処理人口 8,990人 管渠延長(幹線+枝線) 87.4km  (社会的変化) 人口の増加、生活様式の多様化により公共用水域の保全が困難になりつつあり、下水道の整備が急務である  (経済的変化) 厳しい財政状況であることから、建設費の更なるコスト縮減、効率的な事業を進めることが求められている	(費用対効果分析) B / C = 1.24  (コスト縮減) 管渠最小口径化 マンホール間距離の見直し 再生材の活用 発注規模の見直し  (代替案) 現実的側面から該当なし	宮川流域下水道の整備の進捗にあわせ、幹線及び集落内管渠の整備を進めており、宮川流域幹線の到達時点で、52%の整備完了、平成27年度末に概ねの完成を見込む	計画処理人口の算定根拠及びこれに基づく下水道施設の処理能力について、妥当性が判断できる説明が不足していた。従って、これらを説明できる資料の提出をまって再審議とする。
							10,840	10.7%				
						H27	-	-				
					(目的) 宮川流域下水道(宮川処理区)玉城町内の水質保全と住環境の改善を目的に下水道を整備する							